



平成21年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社D T S
代 表 者 名 代表取締役社長 赤羽根 靖隆
(コード番号 9682 東証第一部)
— 問 合 せ 先 —
取締役コーポレートスタッフ本部長 栗原 広史
(TEL. 03 - 3437 - 7522)

平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年9月29日に公表いたしました平成21年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

平成21年3月期通期業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(連結)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成20年9月29日発表)	64,000	5,000	5,100	2,500
今 回 修 正 予 想 (B)	61,400	3,650	3,750	1,770
増 減 額 (B-A)	△2,600	△1,350	△1,350	△730
増 減 率 (%)	△4.1%	△27.0%	△26.5%	△29.2%
前 期 (平成20年3月期) 実績	61,801	5,598	5,634	2,941

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 72円37銭

(単独)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成20年9月29日発表)	42,200	4,250	4,500	2,550
今 回 修 正 予 想 (B)	39,600	2,900	3,150	1,760
増 減 額 (B-A)	△2,600	△1,350	△1,350	△790
増 減 率 (%)	△6.2%	△31.8%	△30.0%	△31.0%
前 期 (平成20年3月期) 実績	40,839	4,717	4,939	2,865

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 71円96銭

2. 修正理由

当社グループでは、景気の悪化とともに大きく変化する事業環境に対応するため、営業体制の強化、人的リソースの再配置、継続的な品質強化など、機会損失の抑止や収益性の向上に努めて参りました。しかしながら、米国に端を發した世界的な金融危機は实体经济に波及し、円高による輸出産業への影響など企業収益は大幅に減少、それに伴う設備投資の減少を招いており、情報化投資はさらに悪化する傾向にあります。一方、当社個別の事象として第3四半期以降の大型金融統合案件の終了に伴う影響もあり、通期の業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、主にシステムエンジニアリングサービスにおいて、受注が減少していることに加え、当連結会計年度の売上に寄与する新規受注の低下が予想されることから減少を見込んでおります。営業利益、経常利益につきましては、売上高の減少に加えて、開発案件の延期や契約締結に至る期間の長期化など、稼働率の低下が予想されることから減少を見込んでおります。この結果、平成20年9月29日に公表しました平成21年3月期通期の業績予想を連結、単独とも修正いたします。

なお、平成20年5月15日の決算発表時に公表の配当予想、期末配当金1株あたり20円（第2四半期末15円と合わせ、年間配当金35円）につきましては、当初予想どおり行う予定です。

(注)上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成しており、リスクや不確定な要因が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因により予想とは異なる結果となり得ることがありますのでご了承願います。

以上